

「凄テク三姉妹のエロ責めに耐えられたら本番中出しさせてあげるっ！
途中で泣きベソかいても許してあげないけどねwww」
チャプター1

主人公が部屋に入ると、三姉妹がにっこり笑って待ち構えている。

【ミナ】こんにちはお兄さん。今日は来てくれてありがとう。いっぱい楽しいことしようね。

【ミナ】まずは自己紹介するね。私は長女のミナ。それからこっちは、次女のリナ。

【リナ】リナです。よろしく。お兄さんがどれだけ我慢強い男の人なのか、じっくり観察させてもらうわね。

【ミナ】こっちは末っ子のヒナ。

【ヒナ】こんにちは、お兄さん。ヒナの技でお兄さんのこと……いっぱいメモメロにしてあげちゃうんだから。うふふふふっ。

【ヒナ】ちゅっ。ふうーっ。

【主人公（以後、主と省略）】うわああっ。

【ヒナ】あはっ、ゾワアア〜ってした？ ヒナの吐息で感じちゃった？ ふふっ…
…お兄さんかわいいー♪ 敏感な男の人、ヒナ大好き♪

【ミナ】こおらヒナ、ダメでしょ。まだ説明が終わってないんだから。お預け。

【ヒナ】あはっ、ごめんなさいい。だってこのお兄さん、反応かわいいーからイジメてあげたくなっちゃうんだもん。

【ミナ】ダメ。お預け。

【ヒナ】くぅん。お兄さん、あとでいっぱい気持ちいいことしてあげるからね。それまでもう少し待ってね。ちゅっ。ふうーーーーっ。

【ヒナ】ふふっ、かわいいー♪

【リナ】ふうーーーーっ。

【ミナ】あっ、こらリナまで……。もう……。

【リナ】ごめんなさい姉さま。おいしそうな耳が目の前にあったからつい……。

【ヒナ】あっ、リナずるーい！ ヒナも耳なめするー！

【ミナ】しょうがないなあもう……。じゃ、そのままいいから聞いてね。

【ミナ】これからお兄さんには、私たちとの本番中出しを賭けて、射精を我慢するプレイをしてもらいます。

【ミナ】お兄さんに与えられたチャンスは3回。制限時間内に、私たちに3回イカされちゃったら、お兄さんの負け。

【ミナ】制限時間が終わったときに、お兄さんの射精回数が2回以下なら、お兄さんの勝ち。私たちのオマンコにお兄さんのおちんちんを挿入して、中でドクドク射精する権利をあげちゃいます。

【ヒナ】わかった？ 2回までならイっていいんだよ？ いっぱい気持ちよくなるうね？

【リナ】お兄さんがどこまで頑張れるか……。ふふっ……。楽しみだわ。がんばってね？ うふふふふふっ。

【ミナ】ふつうは一人の女の子と一対一でプレイするんだけど、今回は私たち三人を一度に指名してくれたから……。特別ルールでやらせてもらうね。

【ミナ】私たち三人のうち、一度におちんちんを触っていいのは一人だけ。三人がそれぞれ異なる技でお兄さんにエッチなことをするから、それに負けないように我慢してね。

【ミナ】イカされちゃったら次の子にバトンタッチ。それでまたイカされちゃったら、次の子にバトンタッチ。最後の子にもイカされちゃったら、お兄さんの負け。いい？

【ヒナ】最後まで耐えきったら、ヒナたちのこと好きにしていからね？ ヒナたち全員のオマンコに、お兄さんの子種……たあゝっぷり植え付けていいんだよ。

【ヒナ】お兄さんの男らしくて強いおちんちんでヒナたちのオマンコ滅茶苦茶にかきまわしてえ……、アンアン泣かせてくれる？

【リナ】……泣かされるのはお兄さんの方だと思うけど。

【ヒナ】ふえ？ どうして？

【リナ】お兄さん……童貞よね？ 童貞のくせにこんなお店に来て……いけない人ね……。

【ヒナ】お兄さん童貞なの？ ねえ？ 童貞？

【リナ】ちょっと耳を舐められただけで体中ビクビクさせて……、ほら見て………。パンツの前をこんなに膨らませて……

【ヒナ】ほんとだ！ しかも濡れてるゝ！

【リナ】この程度でおちんちんをガチガチのヌルヌルにしてしまうなんて……童貞に決まってるわ。

【ヒナ】そうなの？ ねえ？ 童貞なの？

【ヒナ】あはっ、そうなんだ。お兄さん童貞なんだゝ。

【ミナ】ヒナ、あなただってわかってたでしょ？ 白々しいわよ？

【ヒナ】えへっ、てへぺろ♪

【リナ】童貞のくせに私たちに挑戦しようなんて、生意気にもほどがあるわ。たっぷりいじめて……悶え狂わせてあげる。くすくすくすっ。

【ミナ】ね、お兄さんはどうして私たちを指名してくれたの？ このお店……初めてよね？

【ミナ】ふうん……へえ、そうなんだ。SNSに私たちとプレイした人の感想が載ってたんだ。

【ヒナ】どこどこ？ ヒナ見た〜い。スマホ見せて〜。

【リナ】私も……見てみたいわね。見せて？

【ミナ】これ？ 読んでもいい？

【ミナ】じゃあ、読むね。えっと……昨日あの三つ子に、三度目の正直で挑んできた。結果……やっぱあの三つ子すごすぎ。泣きベソかかされて、ヒイヒイいわされまくって、ちんちんから精液搾り取られまくった。

【ミナ】あんなの勝てるわけない。俺より十歳以上年下のロリっ子たちに完全にもてあそばれて、もう二度と勘弁してくらい犯された……。今朝もまだ足がふらふらしてるし。でも、またあの子たちと勝負したくてたまんねーんだけど……なんなのコレ、チクショー。だって。

【ヒナ】あはっ。ヒナ、この人誰かわかったんですけど。

【ミナ】そうね。でも、それ以上は言わなくてもいいわ。はい、スマホ返すね。

【ヒナ】これを見て来てくれたってことはあ……お兄さんもこの人みたいに搾り取られまくりたいってこと？

【リナ】ねえお兄さん、あなた……勝ちたくて来たの？　それとも……負けたくて来たの？　くすっ……くすくすくすっ……。

【リナ】私たちに勝って私たちを犯しに来たのか、それとも……、私たちに心も体も犯されて……、おちんちんが我慢汁と精液でぐっちゅぐちゅによごれるまでいじめられたくて来たの？　ねえ……どっち？

【ヒナ】ねえねえお兄さん、リナってばほんと残酷だと思わない？　どっちかなんて……お兄さんの様子見てればすぐにわかつちゃうよね。くすくすくすっ。

【ヒナ】パンツの中がもうバクハツしそうなくらい大きくなっちゃてるしい、パンツについてるヌルヌルのいやらしい染みがどんどん広がっちゃってるしい。くすくすくすっ。

【リナ】あらあらどうしたの？　お兄さんの顔……もう負けそうになってる。まだぜんぜんエッチなこととしてあげてないのに、もう負けそうな顔になってるじゃないの。どうして？　ねえ？

【ヒナ】あはっ、パンツの中でおちんちんがビクビクうってしたあ♪　言葉で煽られただけでおちんちんビクビクさせちゃうんだあ。

【リナ】ふふ……戦う前からどっちが勝つか……わかつちやったわね。あとはもう、どうやってお兄さんをなぶり殺しにしてあげるか……。

【ヒナ】私たちみたいなロリロリな女の子に身も心も骨抜きにされて……、年上の男としてのプライドなんかありんこみたいに踏みにじられて……。

【リナ】私たちには絶対になわなないんだって心と体に刻み込んであげる。お兄さんは私たちに絶対に勝てない。絶対に。くすくすくすくすくすっ。

【ミナ】さあ、第一ラウンド。始めましょ。